

# 建設業における仮設機材に起因する 死傷災害発生状況(20)

～平成26年発生の各種足場に関する死傷災害～

一般社団法人 仮設工業会 事務局

## はじめに

本会においては、会報「仮設機材マンスリー」の平成25年10月号から、下記のとおり建設業における仮設機材に起因する死傷災害発生状況を掲載しています。

- (1) 平成25年10月号・災害の概要
- (2) 平成26年 1月号・平成22年・機材センター
- (3) 平成26年 2月号・平成22年・脚立
- (4) 平成26年 3月号・平成22年・梯子
- (5) 平成26年 4月号・平成22年・つり足場
- (6) 平成26年 5月号・平成22年・移動式足場
- (7) 平成26年 7月号・平成24年・死亡災害
- (8) 平成26年10月号・平成23年・機材センター
- (9) 平成26年12月号・平成23年・枠組足場
- (10) 平成27年 1月号・平成23年・移動式足場
- (11) 平成27年 2月号・平成23年・支保工
- (12) 平成27年 3月号・平成23年・アルミニウム合金製可搬式作業台・高所作業台
- (13) 平成27年 9月号・平成25年・死亡災害
- (14) 平成27年11月号・平成24年・機材センター
- (15) 平成28年 4月号・平成24年・枠組足場
- (16) 平成28年 5月号・平成26年・死亡災害
- (17) 平成28年 9月号・平成25年・機材センター
- (18) 平成28年10月号・平成25年・各種足場
- (19) 平成29年10月号・平成26年・機材センター

今回の死傷災害発生状況は、平成26年における各種足場に関係すると考えられる死傷災害を、厚生労働省のデータベース（職場のあんぜんサイト）から抜き出し、足場の種類が特定できたもののみを仮設工業会事務局において足場別に取りまとめたものです。厚生労働省のデータベースは、休業4日以上全事例のうち、災害発生時、作業内容等毎に、およそ1/4を無作為に抽出したものになっています。本災害発生事例を参考にして、仮設機材に関する同種災害の再発防止や教育等にお取り組みください。

## 1 枠組足場に関係すると考えられる事例

NO	負傷災害発生状況（平成26年）
1	4階建て倉庫解体のため、養生用600幅の枠組足場組立作業中、7段目で作業員2名が場所を入れ替わる際に外部側を通行していた被災者が片側が不結合だったことを忘失し寄りかかったところ、高さ12mから墜落した。
2	ローリー出荷場電線管工事で枠組足場を降りる際、建枠と補強材を使って降り始めたところ足を踏み外して右足から落ちた。右足踵を強打して骨折。
3	一般住宅新築工場の現場にて、枠組足場を上っていたところ、足が滑り、後ろ向きに跳ねて降りた際、地面の石にあたり、左足踵にヒビが入った。
4	応援スタンド設置工事において、急な降雨のため足場より降りた際、濡れたグラウンド面に足を取られ後方に転倒。転倒中にヘルメットが足場建枠に当たりずれが生じて地面についた際に取れたため、地面に直接後頭部を打ち意識を5分ほど失くした。
5	屋上防水等工事に関わる足場解体工事で、枠組足場を解体撤去中、長さ1.7m幅1.2m重さ15.5kgの建枠を足場上部より仮置場としていた駐輪場屋根に落下。降下させる際にバランスを崩し、2.7m下の屋根に落下。屋根上でバウンドして、2.2m下の地面へ再落下し負傷した。

6	解体用養生足場組み立て中、足場2段目の作業が終了し、寄った材料を持って移動中、安全帯に付けているツールフックが引っ掛かり、雨天時だった為、足を滑らせ、筋交の下の隙間から転落した。
7	外部足場組作業中、外部養生ネットを抱きかかえながら、枠組足場2段目上を歩行中に、床付き布わくを踏み外し、転落して右手首、腰に怪我をし、骨折。
8	牛舎屋根修理工事中、足場の交さ筋かいが外れ、足場が右肩に当たり転倒し、負傷した。
9	建物の一部改修工事作業時、2階バルコニーへの昇降用に枠組足場上に脚立を載せ、壁に立て掛けて使用していた際、2階から降りようと脚立に足をかけたところ、脚立が滑り、約3m下に落下した。
10	建物改装工事のための解体作業中の1階フロア上にて看板の支柱をガス切断作業中、枠組足場4段目上で玉掛合図を行っていた作業員が壁つなぎの鋼管を取り外し不用意に足元に置いていたため、足に引っ掛け鋼管が落下して被災者の顔面に直撃し被災した。
11	現場内でダンプ後方よりコンクリートがらを積み込む為、枠組足場を高さ1mで設置、そして一輪車で積む為道板も設置した。枠組足場の床付き布わく2枚のうち1枚を外して道板の延長にした為枠組足場に隙間が出来一輪車を押して枠組足場まで行った時、ふらついて隙間に落ちてしまった。
12	工事現場にて高さ約1.8mの足場から枠組足場伝いに後ろ向きで降りていたところ誤って高さ1m付近のところから地面に落下して腰部、頭部を負傷した。
13	三尺の立馬を使用し、化粧板の取替作業中、(1Fエントランス付近)立馬から降りる際、横の足場の建枠のアームロックに手を添えていた為、指がかかったまま一段足を滑らせ着地し骨折。
14	住宅改修工事現場で、翌日組み立てる足場を2tトラックより荷卸し中、荷台が小雨で濡れていたため足を滑らせ、足場の建枠を持ったまま転落。舗道の縁石に右肘と右脇腹を打ち負傷。
15	小学校体育館天井解体の為の足場を組立作業中、枠組足場6段目から足場板4mが天秤状態になり、バランスを崩し約10m下の床へ転落、左大腿骨開放骨折、腰椎圧迫骨折した。
16	上層階から階段を下りていた時、照明がなく暗かったため、3階を1階と勘違いし、足場のプレスをまたいだ所、転落し胸部を骨折した。
17	足場組立作業を被災者とは1名で行っていたところ、被災者が建枠を2枚もって移動中、昇降階段取り付け部(開口部)より足を滑らせ9段目(高さ約14m)より朝顔上(高さ約3.6m)に墜落し、右足を骨折した。
18	低層棟4階屋上で電動ドラムを持って枠組足場下を移動中、足場下に這わされていたハイウォッシャーのホースに左足を引っ掛け転倒した。その際、右半身が左側に巻き込まれるように転倒したため足場内に一部入り込むように置かれた単管で右ひじを強打した。右ひじ頭粉碎骨折と診断。
19	当社漁港作業場において、上架中の漁船にサイドローラーの取付作業を行うため、1段目の枠組足場を組み終え、2段目の足場にとりかかろうとした時、急に1段目の足場の交さ筋かいが外れ、足場が崩れ落ち、そのまま落下(高さ1m60cm)左足首を骨折しました。
20	反応タンク内中間梁アンカー打設補助作業終了後、荷物を槽上に上げようとして、足場板を設置していない3段目の建枠に乗り、足を滑らせ約5.3m下に墜落した。
21	民家の裏地において、雨樋の修理・補修作業中、枠組足場1組を組立て階段を登っている時に足を踏み外して滑り落ちた。

22	両手に荷物を持ち、外部足場昇降階段（枠組1段目～2段目）を降りていたところ、段板を踏み外し、段板と枠組足場の建枠の隙間に左足（長靴）がはさまり、体が前に倒れ荷物を投げ出し手をついたが、足首を負傷した。1段目の階段枠にガタツキがあった。
----	---

## 2 単管足場・くさび緊結式足場・ブラケット足場に関係すると考えられる事例

NO	負傷災害発生状況（平成26年）
1	2階に仮敷きしてあるコンパネ12mmの上に外部作業から内部に戻る時、乗ってしまい、コンパネが割れてそのまま1階へ落下。くさび式足場の高さは8m。
2	7階の染剛型枠解体作業をする為に、高さ約1.8mの位置に単管をクランプ止めをして足場板を敷き潰した。足場板の上で解体作業中に、足場板を結束していたが結束が甘く、足場板が滑ってずれて、足場から床に落下して負傷した。
3	センターコート吹き抜け部のブラケット足場（高さ2.5m）で、手摺見切りを取り付中に足元を確認せずに横移動した。安全帯未使用だった為、端部から墜落し、頭部と腰を床に強打した。
4	ブラケット足場（枠組み足場併用足場）にて屋根のふき替え作業中、ブラケット部の踏板が動き、バランスを崩し約1.5m下に落下した。
5	マンションの単管ブラケット足場解体作業中、解体した足場材を地上で受け取っていたところ、ブラケットを受け取る際に手を滑らせて右脛にぶつけ負傷した。
6	マンション建設現場で単管足場の解体中、地上でシートをよせていた時、抜いたパイプの中にガラが詰まっていた、それが上（地上20m）から落ちてきて肘に当たった。
7	屋根葺替工事現場において、屋根に上がるためくさび緊結式足場を二段組み立て、くさび緊結式足場用の長さ2.5mの梯子を上り1段目の高さ1.8mのところまで到達直前約1.5m付近で右足をかけた際、梯子の左側金具が外れ梯子が右側に回転し、約1.5m下に転落し、背部より地上に落下し負傷した。原因は梯子がくさび緊結式足場に固定されていなかったため。
8	屋上太陽光発電システム電気配管作業のため、仮設足場上で昇降中に単管足場材で左足ひざを打ちつけた。
9	家屋解体工事で単管足場の撤去作業中、安全帯のフックを掛けなおそうとした時に足が滑り、約3m下に転落し左足を骨折した。
10	河川改修工事現場にて、仮締切内の橋脚足場組立作業で、不要資材の踏板を片付ける為、1段目ブラケット足場上で、下段に立て掛けていた踏板を持ち上げ、3段目にいた作業員に手渡そうとした際、バランスを崩し、2.2m下の底版鉄筋上へ落下し、胸部等を骨折した。
11	改築工事現場でユニットバスを2階へ搬入のため、1.5FL～2FLのブラケット足場を昇り中、バランスを崩し地上へ落下。
12	外部階段手すり足場材との隙間が狭く窮屈な作業で、体勢を整えようとして体を反らし振り向いた際に、足場支柱コマ部に左目をぶつけてしまい、左眼球打撲となった。
13	外壁のタイル修繕工事中に足場土の資材片付けをおこなっていた。地上に降りる際に昇降設備を使用せずブラケット足場の水平単管部より降りようとして単管クランプに軍手と指輪が引っかかり受傷した。



14	現場の足場解体作業中、四層部分の作業員より一層にいる被災者へ取り外したブラケットを投げ渡していたところ、タイミングが合わず左頬部にあたり裂傷・骨折となった。
15	構造物取り壊し部に、昇降用くさび緊結式足場設置時に、足場材を運搬時、土の上で滑って転倒し左肘を打った。そのまま帰宅後痛くなり、19時頃整形外科を受診、左橈骨骨折、左手関節捻挫の診断、休業見込43日。
16	高校校舎外部足場（はね出しブラケット）上にて、外壁及び庇、上げ裏の調査を行っていた際、足を踏み外し4階床の庇上に転落し、右肋骨を骨折した。
17	事業所建物2階にあった丸パイプ（5m、3本）を一側ブラケットくさび緊結式足場上（最上段床）に上げる手伝いをしていて、パイプを足場に固定し終わった後に足場から足のバランスを崩し、2階床、コンクリート面に落下し、後頭部の切傷、左腰部等の打撲を負った。
18	住宅解体工事にて、養生シート設置の為、単管足場に登り途中2段目で（地上から約2,100mmの高さ）バランスを崩しふらついて落下した。頭部（ヘルメット着用）、顔面打撲、頸部負傷。
19	住宅塗装の足場解体作業中、足場上部よりブラケットが落下し、腰に当たり、骨盤部を骨折した。
20	小屋解体工事において足場仮設中、大ハンマーで右手小指を打ち骨折した。
21	小学校本館校舎大規模修繕工事において、足場解体作業中、6段目の階段部分（地上約10m）の床付き布わく（足場板）を解体したがそれを失念し歩こうとしたため、その場所から転落した。安全帯はしていたものの何らかの原因で外れてしまい、また支柱につかまったものの耐えられず地面に転落し負傷したものの。
22	造船所構内に上架している船の工事が終わり、右舷船尾の4段目足場を解体作業中、上部水平パイプ手摺2本を取り外した後、縦の支柱に手を掛け3段目の足場に降りようとした時に転落した。
23	足場ステージ上で、不要な単管パイプを片付けていたところ、先端に付いていた単管ジョイント金物が何かの理由で落下した。下部で柱のフープ筋の割出作業をしていた被災者の右手甲に落下した。ジョイント金具が当たり負傷した。
24	足場解体作業で支柱を抜いた際、バランスを崩し足場2層目（高さ約4m）から転落した。転落の際、コンクリートの側溝にぶつかり左手首と腰を強打し、左手首骨折及び尾骶骨にひびが入った。また尖ったものが刺さり臀部に刺し傷を負った。
25	足場解体作業を行っていたところ、手摺を取り外す際に、手摺を握っていた左手薬指をハンマーで叩いた。
26	天井補修工事に伴い仮設足場に上り足場上部、壁面等へ養生シート敷設作業を開始した。作業が完了したため足場東端開口部から中2階へ下りようとして作業員全員が1か所に集まり順番待ちをしていたところ、その足場板に荷重が集中し、それを支えていたパイプのジョイント部が外れた。その際作業員4名は一旦養生シート等を掴んだが、傾いた足場板を滑るように床に置いてある柵上部（高さ約1.5m）に接触の上床に順次落下した。（床から足場までの高さ約7m）
27	特高受電所の防錆塗装補修工事で架設した仮設足場の解体中、建地の単管パイプを片手に持ち、布地として取り付けてあった単管パイプを外したところバランスを崩して後方に倒れそうになり、傾いた建地パイプの先端が電線に接触したため電流が流れ感電した。
28	被災者は、地下1階公共通路の内部単管足場1.8m×4.1m（作業床高さ3.0m）の盛替作業を計4名で実施していた。被災者は、手摺撤去後、移動の際にバランスを崩し、3m下の床面に墜落し左足を受傷した。

### 3 移動式足場（ローリングタワー）に関係すると考えられる事例

NO	負傷災害発生状況（平成26年）
1	ローリング足場の上で鉄骨梁にランナー機を溶接で取り付ける手元の作業中にローリング足場から脚立の最上段に足を掛けようとして踏み外し転落した。
2	ローリング足場解体作業時に1段目から降りようとしたところ、斜めにかけていた足場材に足を滑らせ、約1.5m下に転落した。
3	下屋根ジョイント部施工用の移動足場上がり、次工程の段取りのため横移動しようとした際、足を滑らせて移動式足場と下屋根の間から屋根材の上を移動足場の下部まで滑り落ち被災した。
4	改修工事にてローリングタワーに乗って、壁・天井の高圧洗浄前の照明器具の養生を行っていた。移動時に手摺が当たる為、手摺を外して作業床に乗ったまま同僚が押して移動していたところ、床の凸凹でローリングタワーが揺れた弾みにバランスを崩し転落、足場に顔をつつけ、床に落ちて腰を強打し腰等を骨折した。
5	倉庫内で内装の吊天井解体作業中、ローリングタワー（高さ2m）から降りようとした際、足元が滑り足場途中から落下、頭部を床で打った。
6	単管パイプ組立小屋の解体作業にて、屋根小屋組下部のパイプを移動足場（床高3m）から解体撤去していた。据付けたローリング足場を次の位置に移動するにあたって、ローリング移動足場に乗ったまま、足場を引き寄せ移動させようとしたところ、足場が転倒し地上に落下した。その際左大腿骨粉碎骨折を負った。
7	鉄骨組立て作業終了後、足場のローリングタワー（2段4m）より地面に降りようとしてる途中で、地面から1m弱辺りで不注意で足をすべらせ、バランスを崩し落下。その際に近くに駐車・作業中のクレーン車両（4tトラック）アウトリガーの角に右脇腹を強打し負傷した。

### 4 吊り足場に関係すると考えられる事例

NO	負傷災害発生状況（平成26年）
1	工事現場の吊り足場で配管溶接作業中、外れた万力が滑り落ち右足ももに当たった際に、とっさに左足を捻り骨折した。
2	つり足場にてサンドブラストによる塗膜剥離作業を行っていた際、サンドブラストの反力でバランスが崩れ、足場板を踏み外し、高さ約1.5mの中段足場より転落、胸部を打撲した。
3	横桁架設作業時に、底面足場板上から0.9m上にある下フランジ橋面に上がろうとした際、足を滑らせ吊足場上に落下した。その後、落下の衝撃によりネット結束部が外れ、さらに約15m下の路面に墜落した。
4	軌道工事者他4名は橋梁で橋まくら木交換用の足場仮設工事に従事していた。足場板を水平にするために吊り金具に通したチェーンを調整中、吊り金具のリンク部分が外れ体勢を崩して18m下の川に転落した。
5	橋の補修工事をするために安全帯を装着し、ラチェットを用いて吊り足場の設置作業をしていたところ、ワイヤーが外れ足場板ごと6m下の川へ転落し行方不明となった。後日川底で沈んでいるのが発見され死亡が確認された。
6	高速道路に設置の吊り足場上において橋桁の鋼材面に付着した剥離剤の除去作業中、吊り足場の2段足場上、シンナーを含ませたウエスで剥離剤の除去中に現場に設置していた照明器具にシンナーがたかれ発火し、その火がウエスに引火し、引火したウエスが2段足場上に落ち、2段足場の養生シートが燃え足場全体に延焼した。
7	吊り足場解体作業中、クランプを緩め移動していたところ、片方のクランプを外した鋼橋単管が回転し、約5m下の道路に転落した。

## 5 棚足場に関係すると考えられる事例

NO	負傷災害発生状況（平成26年）
1	3階階段棚足場上で、内部型棒建込み作業時に、鉄筋（差し筋）をかわすため、型棒をせり上げていたところ、バランスを崩し、手摺柱（長さ1mの単管）を右手でつかみ、体勢を整えようとしたが、手摺柱が外側に倒れ、そのまま棚足場（高さ1,800）から3階床に飛び降りた。その際の着地で左足踵を骨折した。

## 6 脚立足場に関係すると考えられる事例

NO	負傷災害発生状況（平成26年）
1	3台の脚立に板を通して作った高さ2m程の足場に登り、外壁にテープを貼る作業をしていたところ、足を踏み外し、転落、首にヒビが入った。
2	オーニングテント取外し工事の現場にて、脚立3本と板で足場を組んで、日よけ取外しのためにネジを緩める作業中にバランスを崩し落下、肋骨を骨折した。
3	コンクリート補修のため足場と脚立2台に足場板を渡して左官工事を行っていた。足場板に足を置いたところ板が持ち上がり、足を踏み外して脚立の上から転落した。
4	スイミングスクールプールサイドにて、ファンコンベクターの取付作業中に、足場と脚立（高さ約2m）に足を置いたところ、バランスを崩し足場上のファンコンベクターの側面版につかまろうとしたが、側面版が外れ床に転落し負傷した。
5	パイプで作った屋根が雪の重みで弛み、脚立と脚立に足場板を渡してクランプのゆるみを確認中に滑って落ちた。
6	顧客宅にて、軒桶取付作業中に、脚立で組んだ足場から足を滑らせ落下、軒桶の金具で左腕を負傷した。
7	私邸の窓枠サッシ取替工事現場において、脚立を2台建て足場板を掛け、足場上で作業中バランスを崩し足を踏み外し地面に転落した際、右手首を骨折した。
8	住宅改修工事現場で作業終了時に脚立に渡した足場を解体撤去中、足場板を引き抜いた時、一方が跳ね上がり脚立の踏板の裏側と足場板の矢板との間に右親指を挟み負傷した。
9	倉庫内部壁面の高さ2m70cmのベニヤ板貼り付け中、脚立2本の足場（幅30cmの棚）に上がり、午後の作業を始めてすぐに足場より右足を踏み外し地面に落ち、左頭部を強打し打撲した。
10	天井クロス施工作業中に、脚立とアルミ足場の掛りが不十分であったため、足場が滑り落ちバランスを失い落下し、脚立の天場に被害者の胸が当たった。
11	物置の外壁の修繕工事中、脚立と道板で作った足場上で作業中、高さ1.2m位の道板の上より地面に飛び降りた際、地面が凹凸状態だったため、足を挫き骨折したもの。
12	木造2階建て住宅の2階改造工事現場で天井下地組の下地材の打ちつけ工事の為、高さ1.2mの脚立に足場板を掛けて作業している際、バランスを崩して腰より落下して負傷した。
13	木造住宅新築工事現場で、内部天井の漆喰塗り作業中、脚立足場板で作った高さ50cm程度の足場上で、移動時に足場板と足場板の重なった部分につまづき、バランスを崩して転倒し、足から着地した。その際、左足小指を骨折した。
14	和室小屋裏の遮熱シート貼りの際、脚立足場2脚に足場板を渡してアルミテープを貼る作業において（脚立上段から2段目に足場板を設置、高さ1.73m）足場を踏み外して和室床（板床）に転落し、右大腿部を骨折した。